(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

		(744) 平皮	子 里 ク ノ ノ 尹 来 午 同 石 勤 報 古 音 (京都市円町)児童館・学童保育所
	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成果と課題
		毎日の手洗い・消毒・検温励行	手洗い・消毒・検温時には職員が傍で声を掛けることで徹底することが出来た。ハンカチ忘れの児童については、忘れないよう引き続き声を掛けていきたい。
	安全・衛生の確保	学童セーフティ	毎月交通ルールについて話をしたり、警察署の方に来てもらい交通安全の話をしてもらうことで子ども達にも交通安全についての意識を持つことが出来た。ただし、理解はしていても実際の行動に伴わないことがあるため、今後も継続して話をしていきたい。
生活援助機能	健康の管理・情緒の安定	集団下館による安全確保 毎日の連絡帳による家庭との連携 グループ活動による人間関係づくりと情緒の安定	グループの人数を帰りの会で確認した後、玄関に職員が立ち、見送るようにした。 また毎日の下館指導として近くの横断歩道まで職員が見守りを行った。 連絡帳を自主的に提出することを身につけた。連絡事項があれば、連絡帳や電話等で保護者と連携をとった。 班活動が定着しているので、自主的に役割を理解し、行動できる形ができている。立て割り班の成果が出ている。 役割を持つことで、自分たちで行う意識づけができた。
	基本的生活習慣の確立	挨拶、手洗い足洗い、片付け、整理整頓などの 日常的実践	おもちゃ棚を整理することで、片付け・整理整頓がスムーズになった。 ロッカーの整理整頓ができるよう掲示を行い、改善することができた。
	社会生活技術の獲得	当番活動の定着、充実 グループ活動や集団下館、館外活動による 人間関係づくりと社会性の育成	班活動、日直、帰りの会の司会等定着している。来年度、年度初めより同じようにスタートしても問題ない。 3・4年生が見本となり、次の学年の憧れとなるとよい。
		3年生企画	事前会議と準備期間を持つことで、意識を高め、当日に臨めた。主体的に関わり、達成感を味わうことが出来た。
	生活体験の拡大	あそびの発表会	けん玉・卓球・ダンス・手品・コマ・手話うたなど練習した成果を保護者に発表した。作品展示も同時に行うことで学童 クラブ児童全員が参加できる会となった
子ども育		新入生歓迎会	新入生と在籍児童の顔合わせ。在籍児童があそびのパフォーマンスを行う事で、楽しく新年度をスタートできる良い機会となった。
育成機	社会性の養成	共同製作	みんなでひとつの物を作る経験をしてほしいと始めた制作。あそびの発表会で展示する。作業中は異年齢で教え合う姿もあり良い機会となった。
能	自立の促進と自主性の尊重	お誕生日会	帰りの会前にお誕生日会を開き、みんなでお祝いをする。また、その日はお誕生月の児童にリクエストを聞き特別おやっにすることで、特別感を感じることができた。
		3年生会議	回を重ねるごとに、自主的に考え、意見を出し、まとめる力が徐々についてきた。 普段の生活の中でも、学童クラブの手本として、リーダーとして力がついてきた。
子育で支援機能	子育てに必要な情報の提供 と交換	学童だよりの配布 児童館だよりの配布 保護者への子育て情報の提供	お便りに学童クラブでの様子を載せることで保護者に子どもたちの様子を伝えることが出来た。
	こ文操 子育ての仲間づくり	・個人懇談 ・登録説明会 ・入会説明会	夏休み前に全家庭対象に個人懇談を実施。館や家での様子を共有する。 ITC化に伴い、全家庭を対象に申請方法についての説明会を行った。 全家庭を対象に、児童館での過ごし方や春休みについて説明会を行った。
	子育てを支えるネットワーク 形成	ボランティアとの連携交流 小学校との連携交流・授業参観への参加 主任児童委員との連携交流	大学生のボランティアに来てもらい、学童クラブ児童との交流を図った。 気になる児童については、学校、保護者と面談を行い、共に子育てをしていく体制をとった。 細やかな対応に気を配っていきたい。 夏期休業前には、各学年の担任と学童担当職員で面談をしている。

(令和4)年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京都市円町児童館) 児童館・学童保育所 学童クラブ児童 登録外児童 ボランティア 行事名 実施回数 その他 合 計 内 容 1年 2年 5年 6年 1~3年 4~6年 中高生 大学生 大人 3年 4年 (1) 生活援助機能 学童セーフティ 209 177 144 41 574 下館指導。雨の日の帰り方の注意点など話をする。 2 ランチデー 109 99 66 23 304 小学校の長期休業中に昼食を提供する。 (2) 子ども育成機能 新入生と在籍児童の顔合わせ。新年度を楽しくスタートするため 新入生歓迎会 30 90 在籍児童がパフォーマンスを行う。 24 23 12 1 手品・卓球・コマ・けん玉・ダンスなどの発表。密を避けるため あそびの発表会 30 28 17 1 120 205 小学校の体育館で実施。きりえ・工作などの作品展示もあり。 夏休みを利用して遊びの発表会で展示する「巨大ロジック」を行 共同制作 (ロジック) 39 35 17 10 105 う。 39 105 夏休みの楽しみとして、Tシャツにタイダイ染めを行う。 共同制作 (タイダイ染め) 35 17 10 3年生が学童のリーダーとして、企画を考え、準備し運営するた 3年生会議 16 284 284 めの会議。 図書室をだがしやさんにして、店番・スタッフなど3年生で行 3年生企画【だがしやさん】 29 24 22 77 う。 【ビンゴ大会】 26 22 69 班対抗のビンゴ大会。景品は3年生が作成。 17 【紙飛行機大会】 56 紙飛行機を作り、飛ばして競い合う行事を3年生が企画し実行。 17 16 14 忍者修行 30 21 14 71 2年生の1部が"やりたい"と準備し、みんなで忍者修行を行う。 帰りの会の前に、誕生月の児童へカードのプレゼント。おやつは お誕生日会 10 286 240 152 44 729 特別おやつとして、誕生月の児童にアンケートを取り提供。 記念品づくり。オリジナルのポーチをペンやスタンプを使って作 修了制作 32 成する。 11 86 学童クラブの一年のしめくくりとして行う。 修了式 33 27 18 5 なんでも発表会 随時 393 得意なこと (マジックやダンスなど) を帰りの会の時間に前に出 138 121 116 18 て発表を行う。 (3) 子育て支援機能 随時 101 夏休み前に全家庭対象に行う。 個人懇談 101 次年度登録予定児童保護者向け、登録に向けての説明会を行う。 学童クラブ登録説明会 115 118 人数の都合上、2日に分けて5部制で行う。 新年度学童クラブ説明会 104 105 次年度の学童クラブの入会説明会4部制で行う。

^{*}注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること

^{*}注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること